

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	利用者本人も慣れ、友人もできたので様子を見ながら、時間を決め短時間でも良いので玄関を開錠していく方法を検討してはかがか。	開錠の必要性をご家族、地域の方々にご理解いただき、徐々に施設内開錠を行う。	運営推進会議等で、外部評価の結果について周知、開錠によるメリットと施錠のデメリットをお伝えしながらご家族、地域の方々の理解を得る。	12ヶ月
2	36 (14)	入浴時等異性介助になる場合は、その都度「私でよいですか」と声かけをし、利用者の了承を得てから介助するよう試みてはかがか。	ご本人にとって、介助を受ける際の心理的負担に配慮をした上で、過不足ないような声掛けを行う。	ケアカンファレンス時の意見交換を通じて情報共有を行う。	6ヶ月
3	52 (19)	共用空間は環境の一つになるので、ホールの四方に掲示されている行事の写真等、できれば現在の物を1ヶ所にまとめて掲示してはかがか。	入居者様の居心地の良い環境の提供。	【現状における問題点、課題】の内容が入居者様にとって好ましいのかを確認、結果について職員会議で共有、協議することで入居者様の希望に沿った環境に近づける。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。